

---

---

## 在宅看護論

前 馬 理 恵 教授  
谷 野 多見子 講師  
矢 出 装 子 助教

3 年次前期・必修

1 単位・30 時間

---

---

### 【概要・目標】

在宅療養者と家族を支える在宅看護の方法と実際について学ぶ。さらに、保健医療福祉制度や保健医療福祉機関との連携、および医療機関から在宅への継続看護の意義、地域包括ケアにおける看護の役割について学ぶ。

1. 日本における在宅看護の発展過程について理解する。
  2. 在宅看護の対象とそのニーズの特徴について理解する。
  3. 在宅看護過程の展開と看護サービスの質の管理について理解する。
  4. 保健医療福祉機関との連携の意義、保健医療福祉制度について理解する。
  5. 在宅移行支援および継続看護、地域包括ケアにおける看護の役割を理解する。
- 

### 【授業内容・スケジュール】

- 1) 在宅看護の概念、社会的背景および日本における在宅看護の変遷
  - 2) 在宅看護の基盤、訪問看護ステーション
  - 3) 在宅看護を必要とする療養者と家族の特徴
  - 4) 地域包括ケアシステムにおける在宅看護
  - 5) 地域療養を支える保健医療福祉制度
  - 6) 対象に応じた在宅看護
  - 7) 在宅看護過程の展開
  - 8) 在宅療養者と家族の捉え方 1 (演習)
  - 9) 在宅療養者と家族の捉え方 2 (演習)
  - 10) 在宅における援助技術—測定・医療的ケア (演習)
  - 11) 病院における地域連携の実際 (患者支援センターより)
  - 12) 在宅療養者と家族の QOL (演習)
  - 13) 在宅における援助技術—生活ケア (演習)
  - 14) 在宅医療と訪問看護 (在宅医より)
  - 15) 在宅における看護管理、在宅看護の課題と展望
- 

### 【評価】

筆記試験 (90%)、出席状況および授業への参加態度など (10%) により評価する。ただし、筆記試験は 6 割以上の得点を必要とする。

---

### 【教科書】

臺有桂他編「地域療養を支えるケア」在宅看護論①第 6 版メディカ出版

---

### 【推薦参考図書】

臺有桂他編「地域療養を支える技術」在宅看護論②第 1 版メディカ出版

渡辺裕子監修「家族看護を基盤とした在宅看護論」日本看護協会出版会

押川眞喜子監修「写真でわかる訪問看護」インターメディカ

宇都宮宏子他編「看護がつながる在宅療養移行支援」日本看護協会出版会

---

### 【その他】